

令和 6 年 度 高 岡 市 下 水 道 事 業 報 告 書

1 概 況

(1) 総 括 事 項

令和 6 年度の下水道事業については、上下水道ビジョン計画を推進するなかで、下水道の使命である生活環境の改善、公共用水域の水質保全、浸水の防除に鋭意取り組みました。また、物価の高騰など厳しい状況のなか、支払利息等の管理経費節減を図るなど、経営の健全化に努めました。今後は令和 6 年能登半島地震を受けての耐震化の加速化や陥没事故を受けての老朽化対策が求められるなど、下水道事業を取り巻く経営環境は厳しさを増しています。

上下水道事業に関連する民間の技術力を生かし、将来にわたる技術水準の確保と効率的な業務の遂行に努めるため、下水道施設の維持管理や料金徴収等業務において包括的業務委託を引き続き実施しました。

下水道施設整備事業では、公共下水道及び特定環境保全公共下水道整備を進め未普及地域の解消を図るなか、下水道ストックマネジメント計画に基づき、市中心部における老朽下水道管路の更新事業を進めるとともに、浸水対策として中曽根雨水枝線整備事業、基幹施設整備として、四屋浄化センターの用水設備改築工事などを実施しました。

また、下水道事業の効率化を図るため、D X 事業として水位・流速センサーを活用した浸水対策に取り組みました。

令和 6 年能登半島地震における被害については、被災した管路施設の調査を行うとともに、順次復旧事業を進めています。今後は、引き続き災害復旧事業に取り組むとともに、令和 6 年度に策定した高岡市上下水道耐震化計画に基づき、下水道施設の耐震化を進めていきます。

< 普 及 状 況 >

本年度末における処理区域面積は 4,568.57ha で前年度に比べ 12.75ha の増加。また、処理区域内人口は 154,620 人で前年度に比べ 839 人減少し、普及率は 95.4% となりました。

< 財 政 状 況 >

本年度の収益的収支については、事業収益 5,817,103,579 円、事業費用 5,406,334,219 円で収支差引 410,769,360 円の当年度純利益を計上しました。

資本的収支については、資本的収入額 3,301,730,450 円、資本的支出額 5,840,025,509 円で不足する額 2,538,295,059 円は、減債積立金 585,128,826 円、過年度分損益勘定留保資金 744,397,641 円、当年度分損益勘定留保資金 1,118,085,653 円及び当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 90,682,939 円で補てんしました。